

空きペンションをケア拠点に

国交省モデル事業に「だんだん」

国土交通省は4日、一般社団法人だんだん会（山梨県北杜市、宮崎和加子理事長）の「支援付き共生住まい山吹」創設

ン、見守り付きの住まいとして整備。重度のケア看取りにも対応できるようにする。首都圏の多様な高齢期のライフスタイルを支えるモデルになり得る点が評価された。だんだんは、訪問看護の草分けとしても知られる宮崎和加子さんが、移

住し設立。すでに、認知症グループホームの運営や定期巡回訪問介護看護などの介護保険事業を含むトータルな地域ケアに取り組んでいる。スマートウェルネスモデル事業は引き続き9月28日まで提案申請を受け付けている。

運営事業をスマートウェルネス住宅等推進モデル事業に選定したと発表した。山梨県北杜市は八ヶ岳山麓にあり、昔からの別荘地。時の経過とともに、定年後に移住した人の高齢化が進んでいるという。別荘地の空きペンションを住民主体のサロ